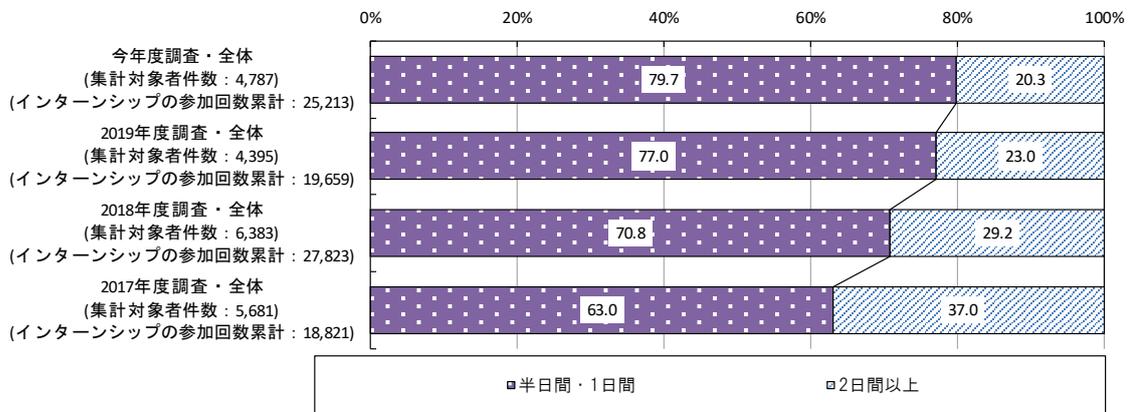
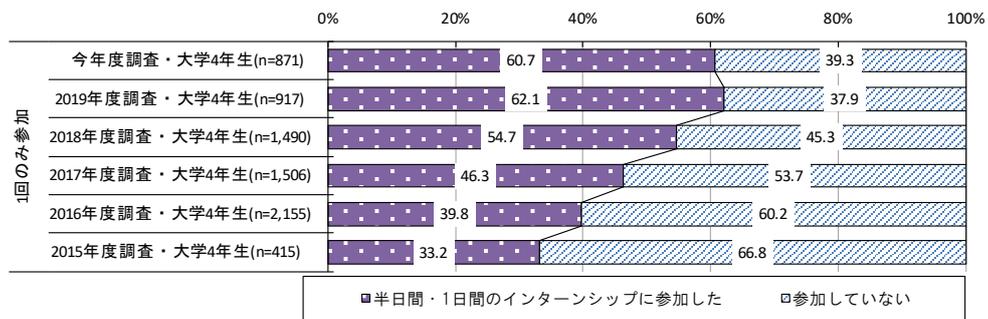


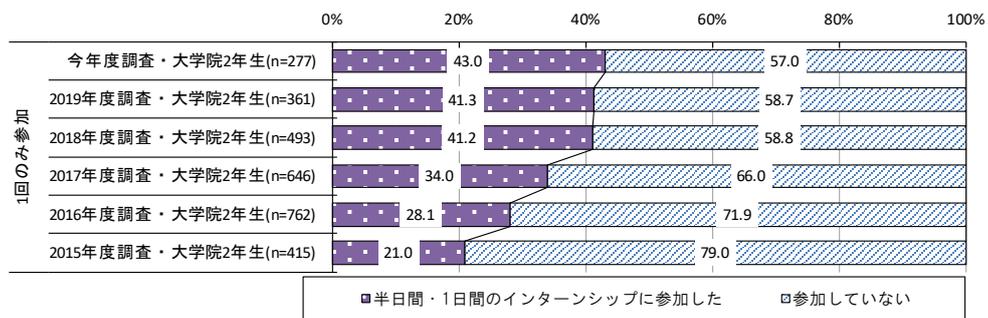
図表 3-9-5 参加したインターンシップが半日間・1日間であった割合
 (インターンシップへの参加回数累計による集計)
 (大学4年生・大学院2年生)



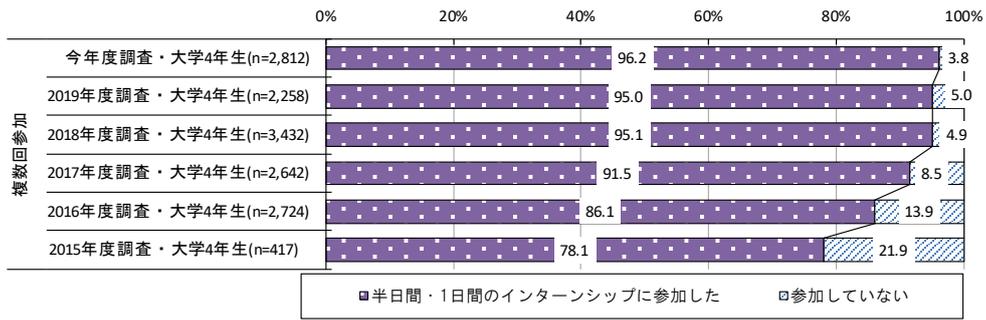
図表 3-9-6 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況
 (大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



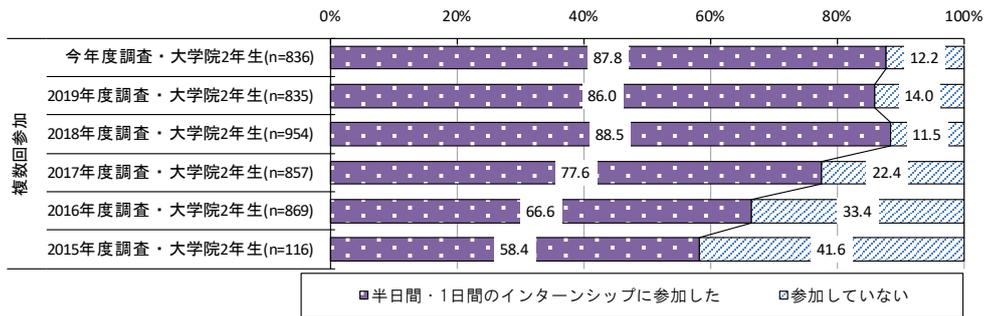
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

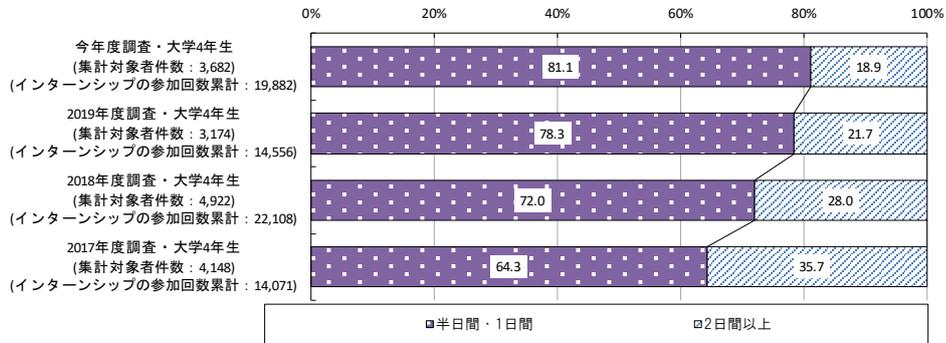


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

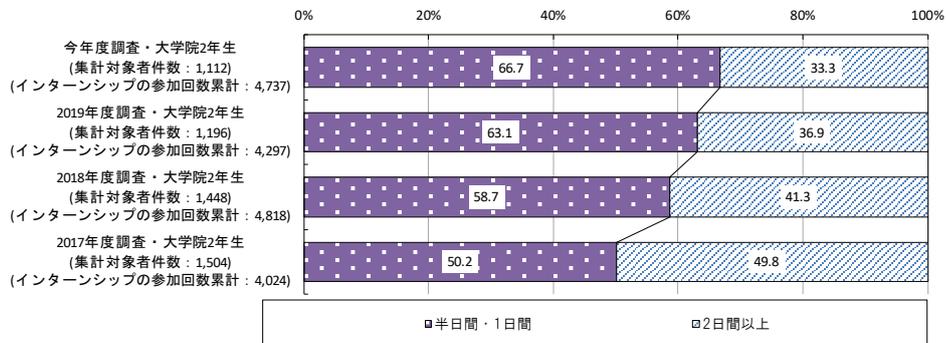


図表 3-9-7 参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



(大学院2年生)



⑤参加したインターンシップの就業体験等との関係性

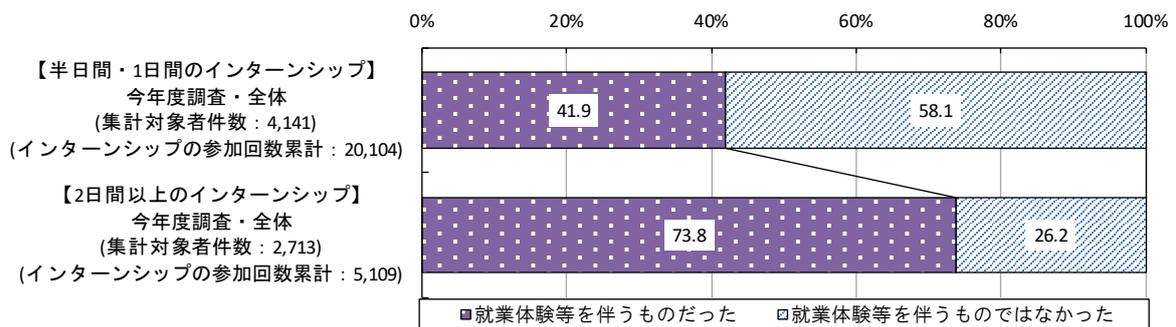
参加したインターンシップのなかで、就業体験等⁵⁸を伴っていたかどうかを集計すると⁵⁹、「半日間・1日間のインターンシップ」に関して、就業体験を伴うものだった割合は約4割であり、「2日間以上のインターンシップ」に関して、その割合は約7割となっている。

2019年度調査と比較すると、「半日間・1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」いずれについても、「就業体験等を伴うものだった」の回答割合はほぼ同様となっている。

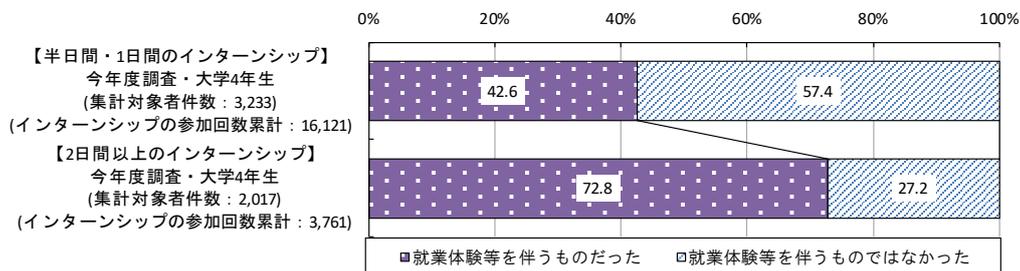
図表 3-9-8 参加したインターンシップの就業体験等との関係性

(参加したインターンシップの回数累計による集計)

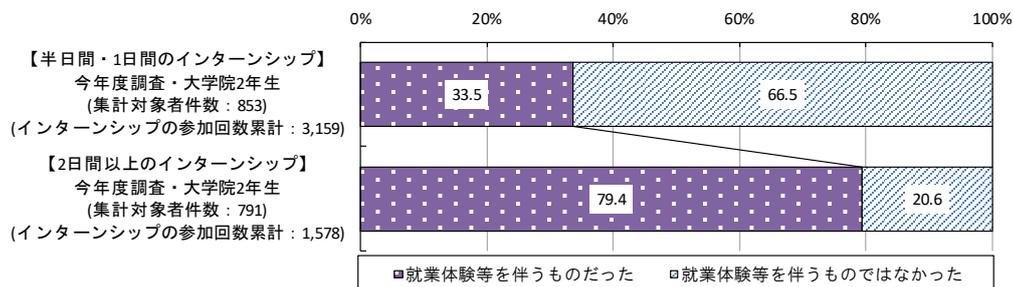
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

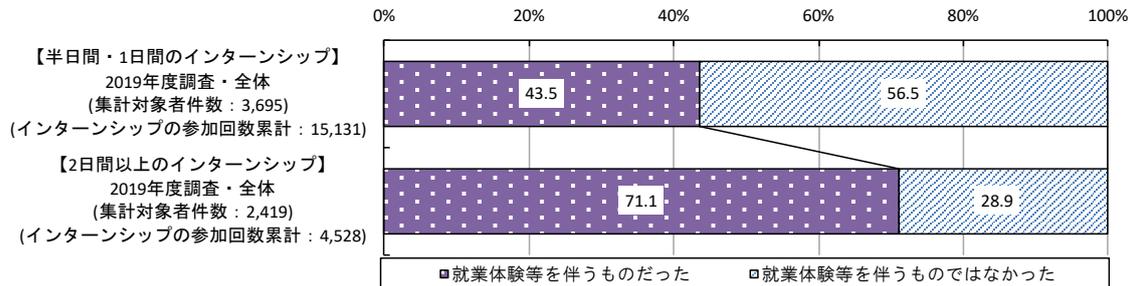


⁵⁸ 就業体験等とは、職場での業務体験や課題解決のワークショップ等を経験するもので、企業の業務内容の説明や職場見学のみものは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

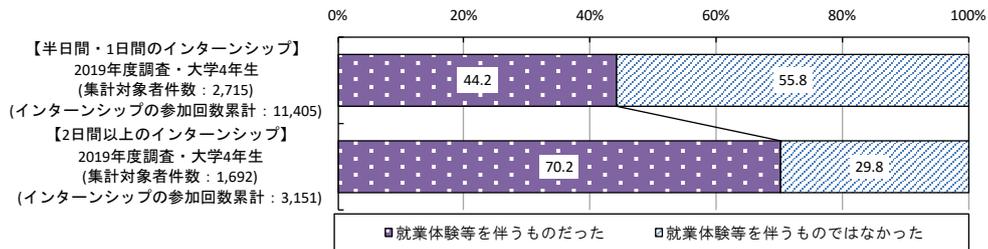
⁵⁹ 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。2017年度調査・2018年度調査については「1日間のインターンシップ」に関して、それが就業体験等を伴うものであったかを調査しているが、2019年度調査・今年度調査とは異なる方法で設問の設定を行っていることから、直接的な比較は行わなかった。

図表 3-9-9 2019 年度調査、1 日間のインターンシップの就業体験等との関係性
 (参加したインターンシップへの参加回数累計による集計)

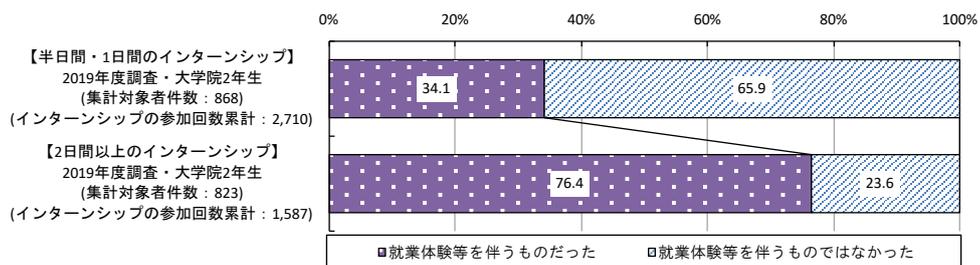
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



(大学 4 年生)



(大学院 2 年生)

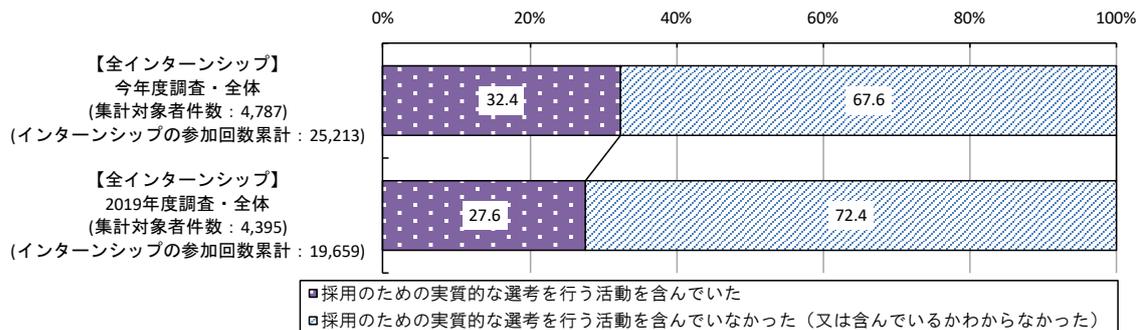


⑥インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

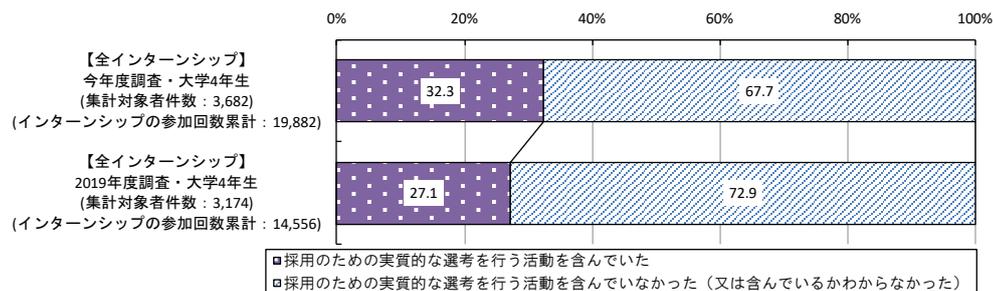
参加したインターンシップのなかで、採用のための実質的な選考を行う活動⁶⁰を含んでいたかどうかを集計すると約3割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。

2019年度調査と比較すると、含んでいたとする回答の割合が若干高くなっている⁶¹。

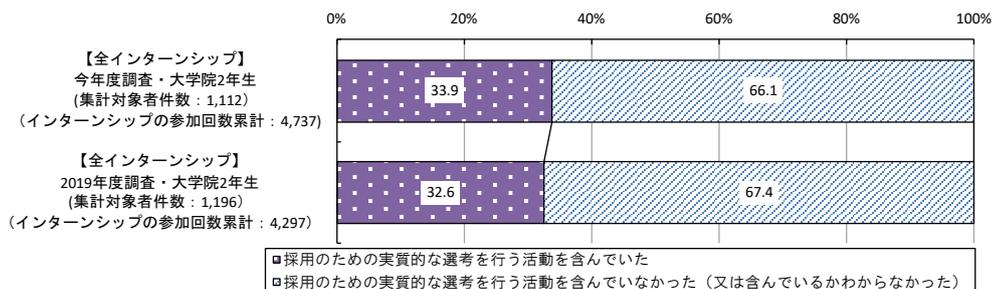
図表 3-9-10 インターンシップにおける実質的な選考実施の有無
(参加したインターンシップの回数累計による集計)
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



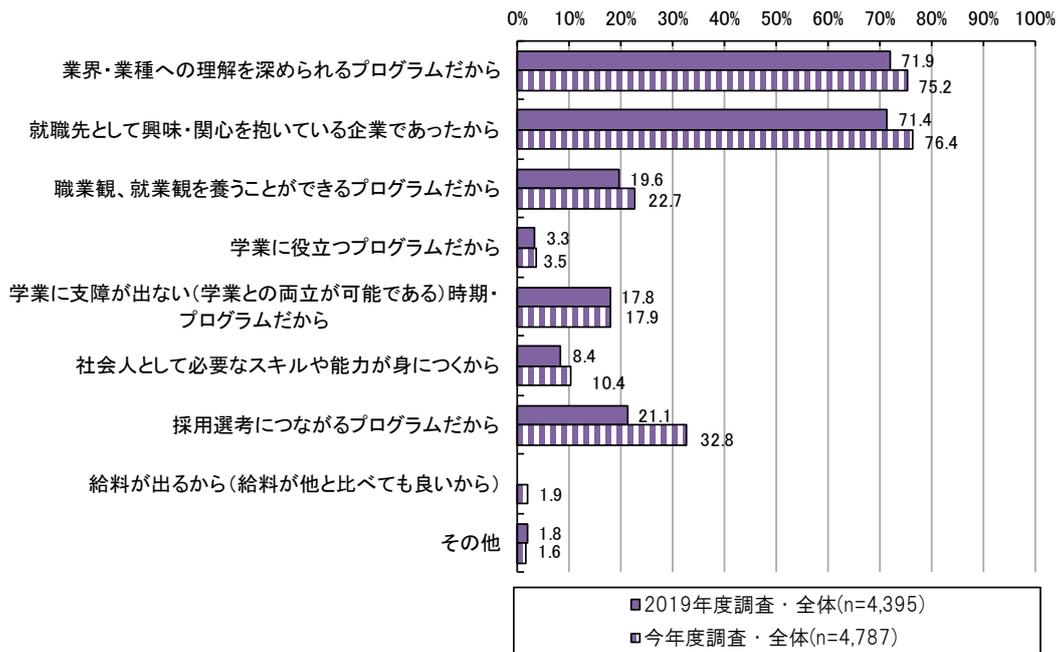
⁶⁰ 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるための必須条件になっていた、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含んでいたようにした。

⁶¹ 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。

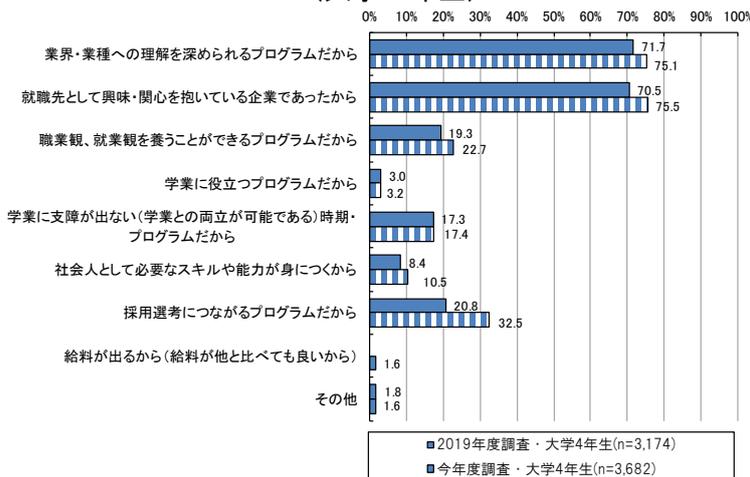
⑦インターンシップ先を選択した理由

どのような基準でインターンシップ先を選択したかについて、「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」の回答割合がそれぞれ約8割となっており、2019年度調査と比較して高くなっている⁶²。なお、「採用選考につながるプログラムだから」の回答割合も約3割と比較的高く、2019年度調査と比較して高くなっている。

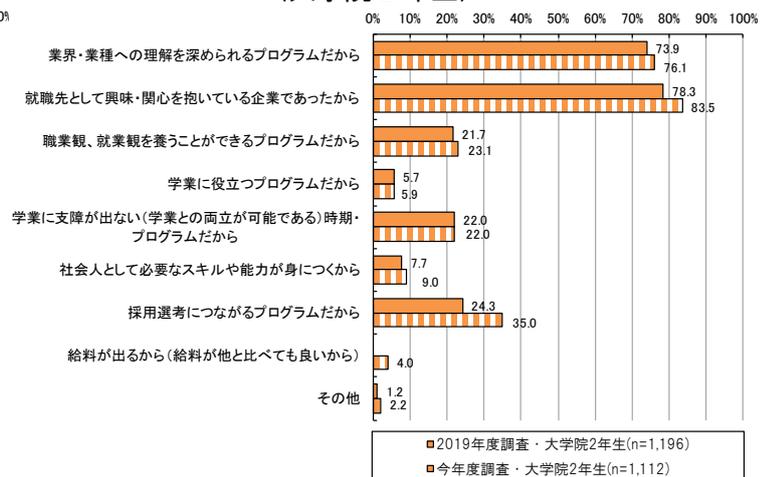
図表 3-9-11 インターンシップ先を選択した理由（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



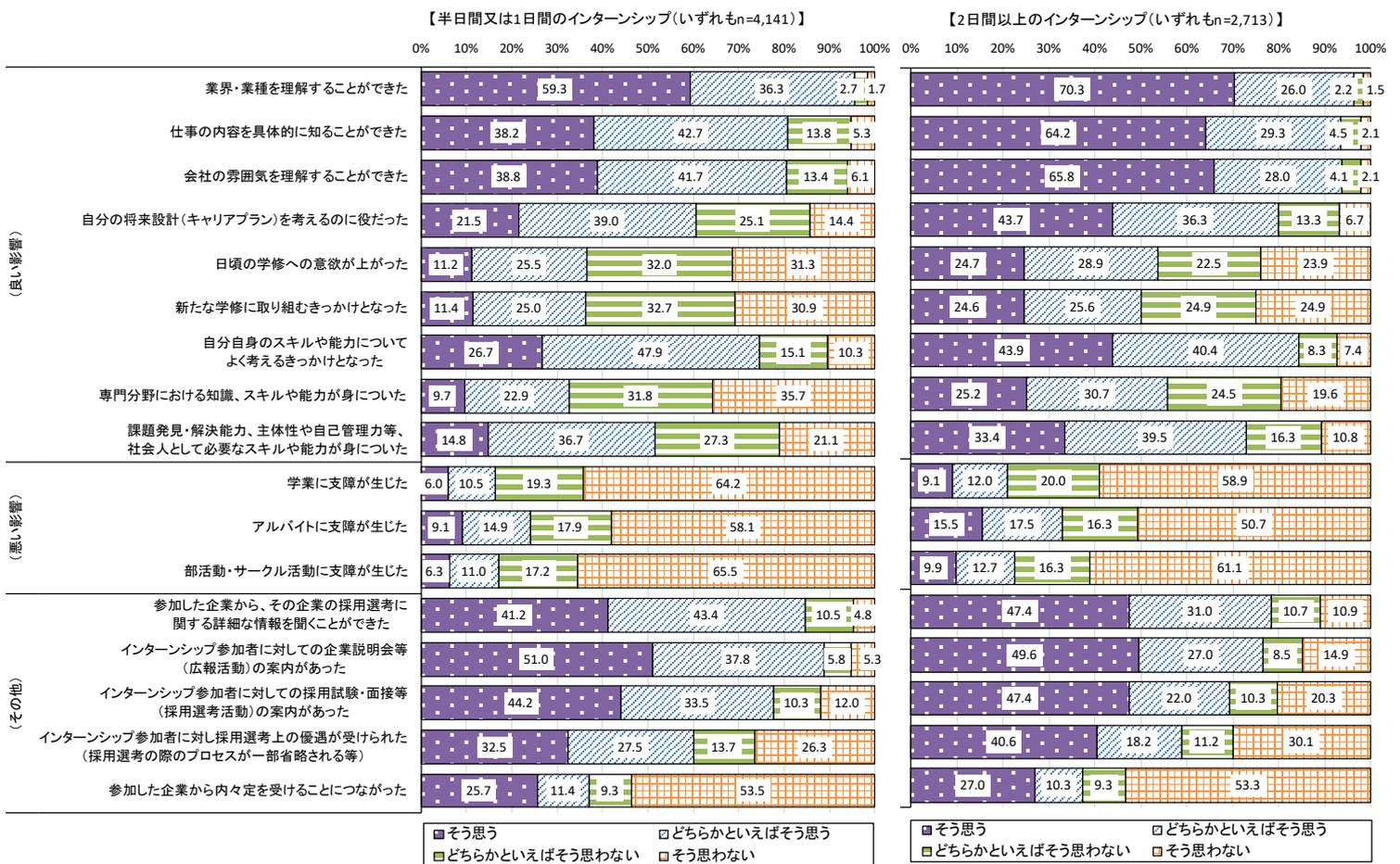
⁶² 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。また、「給料が出るから(給料が他と比べても良いから)」の調査項目は今年度調査で新たに設けた項目である。

⑧インターンシップの効果についての認識

インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたか⁶³について、参加したインターンシップの日数別に集計すると⁶⁴、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」とともに、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。このほか、「仕事の内容を具体的に知ることができた」など、「良い影響」と考えられる点について、「半日間又は1日間のインターンシップ」に比べ「2日間以上のインターンシップ」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている。

2019年度調査と比較すると、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」とともに、「参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた」などの「その他」の影響について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が高くなっている。

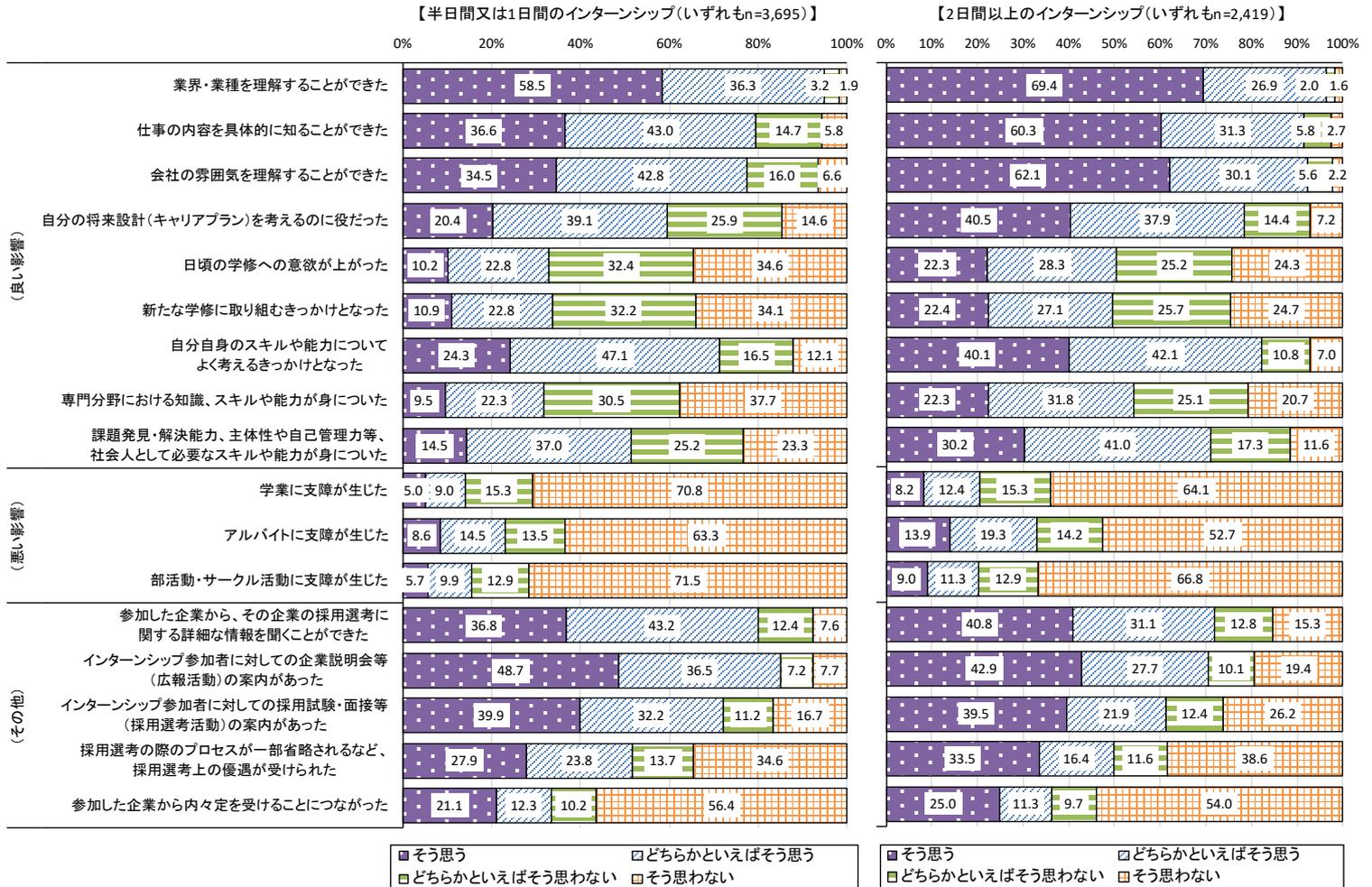
図表 3-9-12 インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生・大学院2年生)



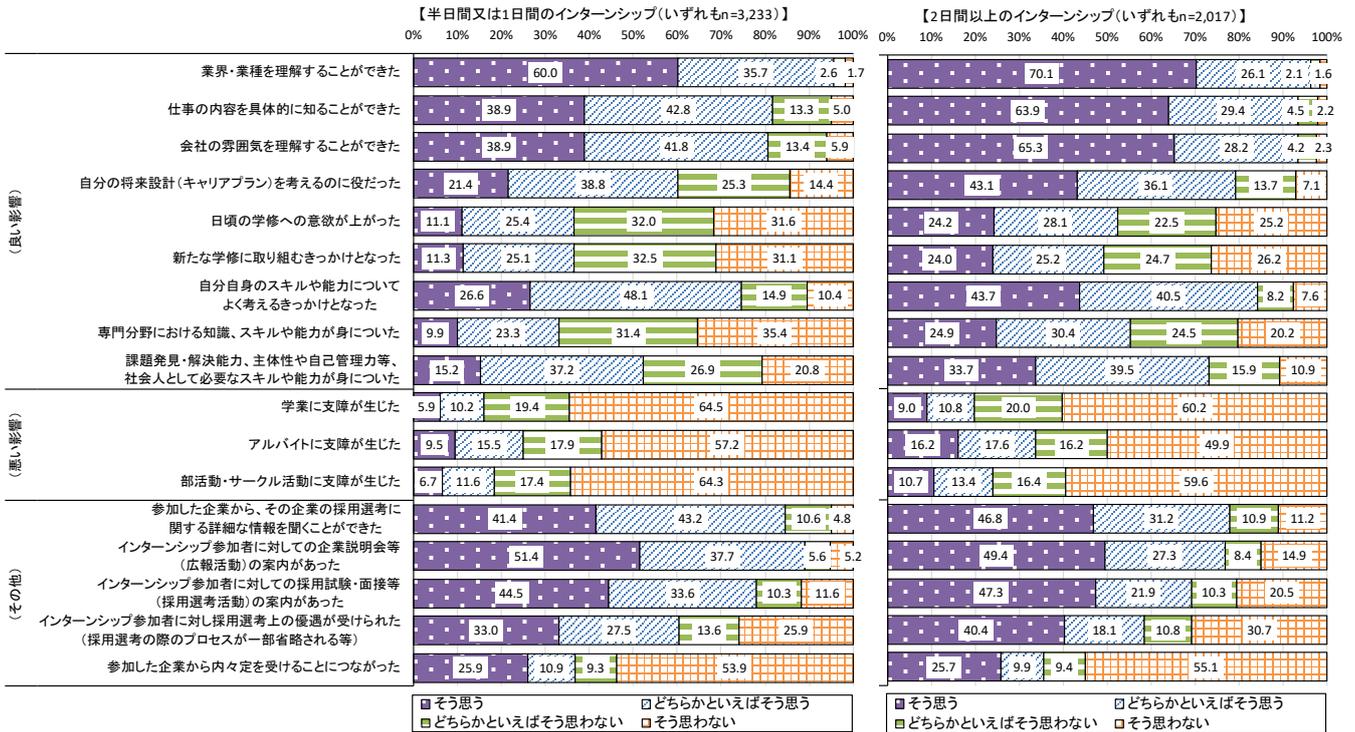
⁶³ 2015年度調査～2017年度調査では当該設問について調査を実施していない。2018年度調査では同内容の設問を設定しているが、マルチアンサー形式での項目としていることから、今年度調査との比較は行っていない。

⁶⁴ 「半日間又は1日間のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、半日間又は1日間参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも半日間又は1日間であった」、「インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。「2日間以上のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、2日間以上参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも2日間以上であった」、「インターンシップに複数回参加して2日間以上のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のものと2日間以上のものいずれにも参加したことがある場合は、参加したことがあるインターンシップについて「半日間又は1日間であったもの」と「2日間以上であったもの」のそれぞれについて回答いただくように設問を設定した。

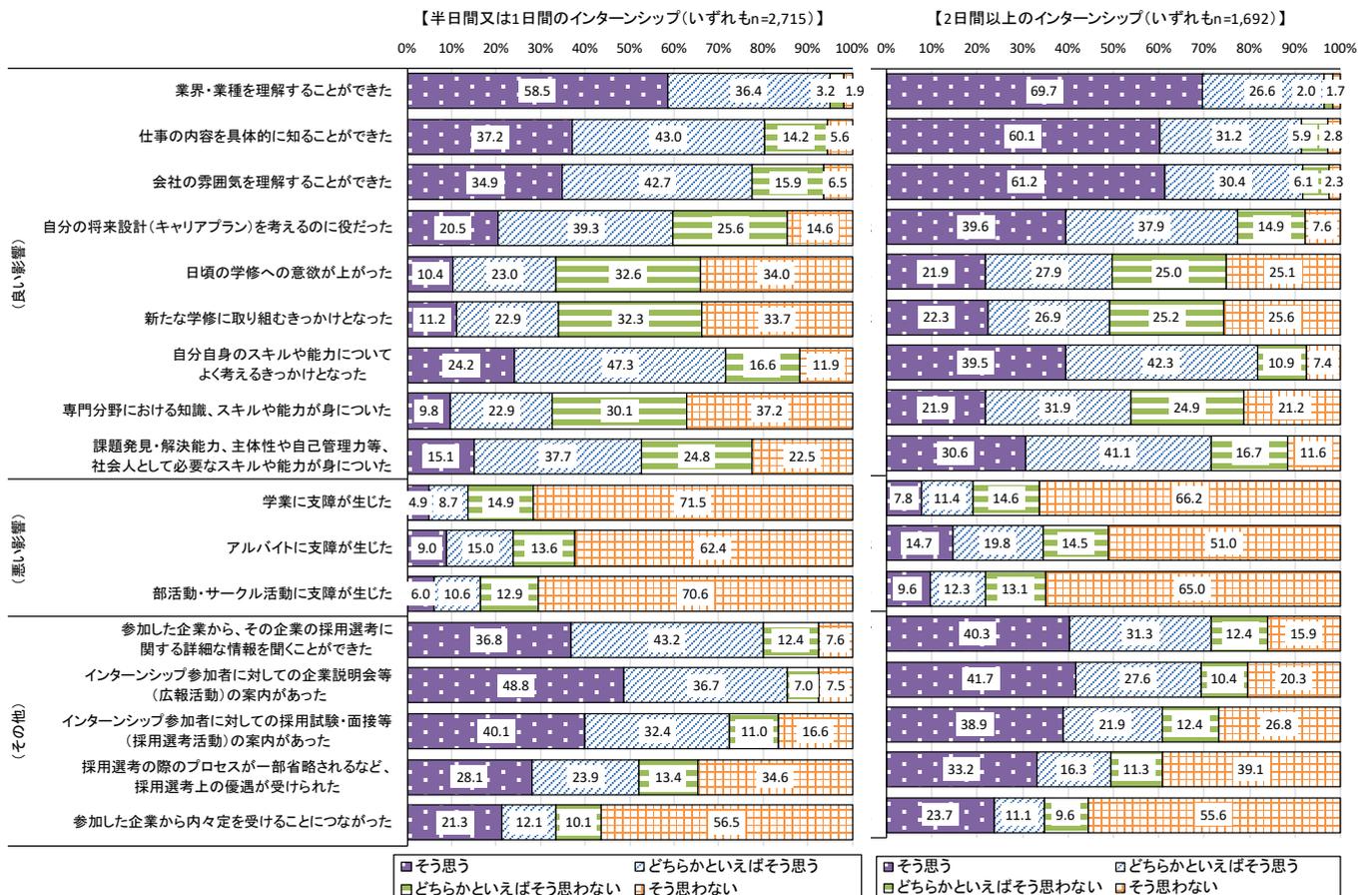
図表 3-9-13 2019 年度調査、インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生・大学院2年生)



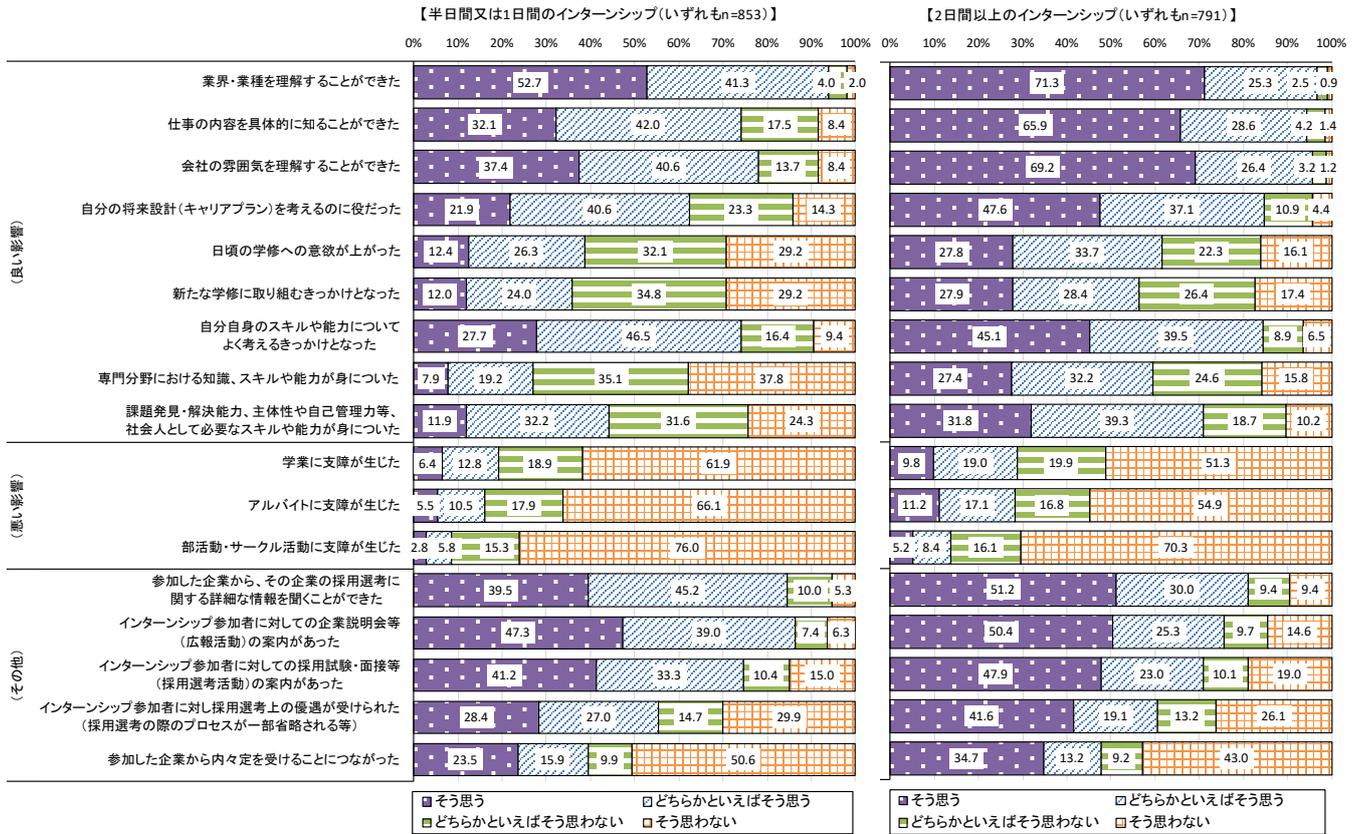
図表 3-9-14 インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生)



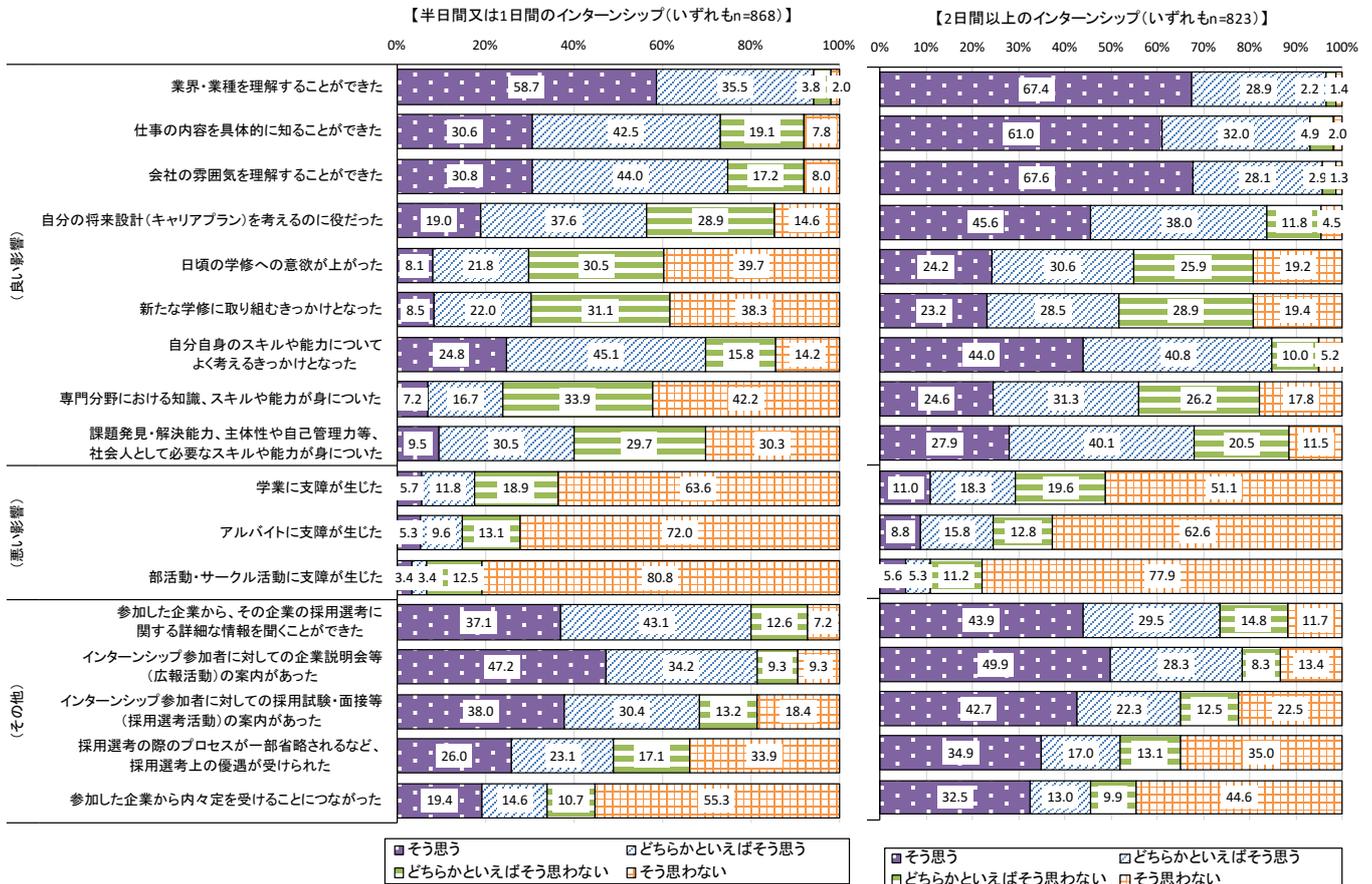
図表 3-9-15 2019年度、インターンシップに参加して感じた効果
(大学4年生)



図表 3-9-16 インターンシップに参加して感じた効果
(大学院2年生)



図表 3-9-17 2019年度調査、インターンシップに参加して感じた効果
(大学院2年生)

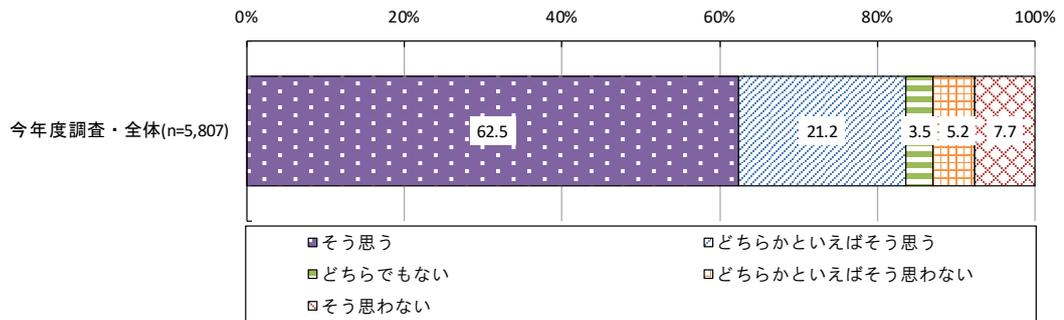


(10) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

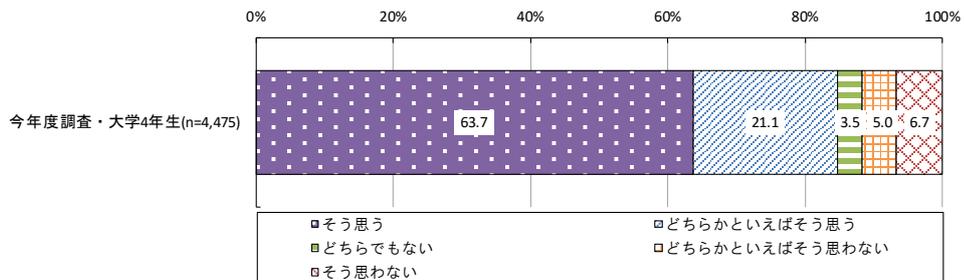
①就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響

就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約8割となっている。

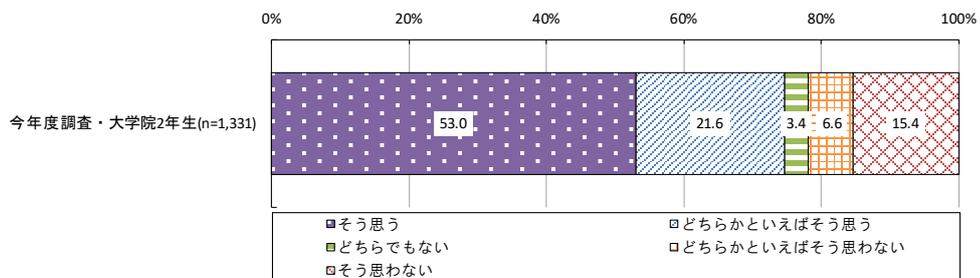
図表 3-10-1 就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



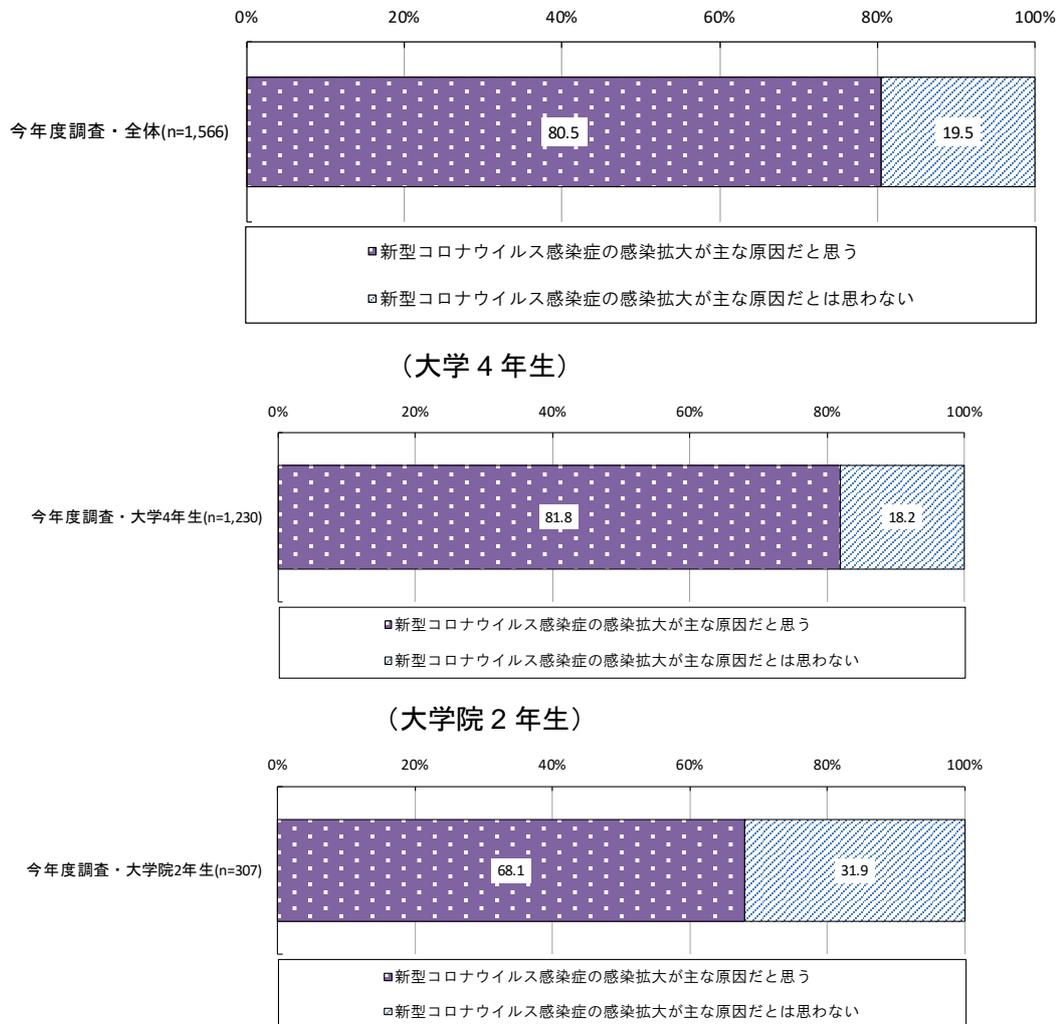
(大学院2年生)



②学生が就職活動の予定をたてる際の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてるのが難しかったことについて、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」と回答した割合は、約8割となっている⁶⁵。

図表 3-10-2 就職活動の予定をたてるのが難しかった原因
(大学4年生・大学院2年生)



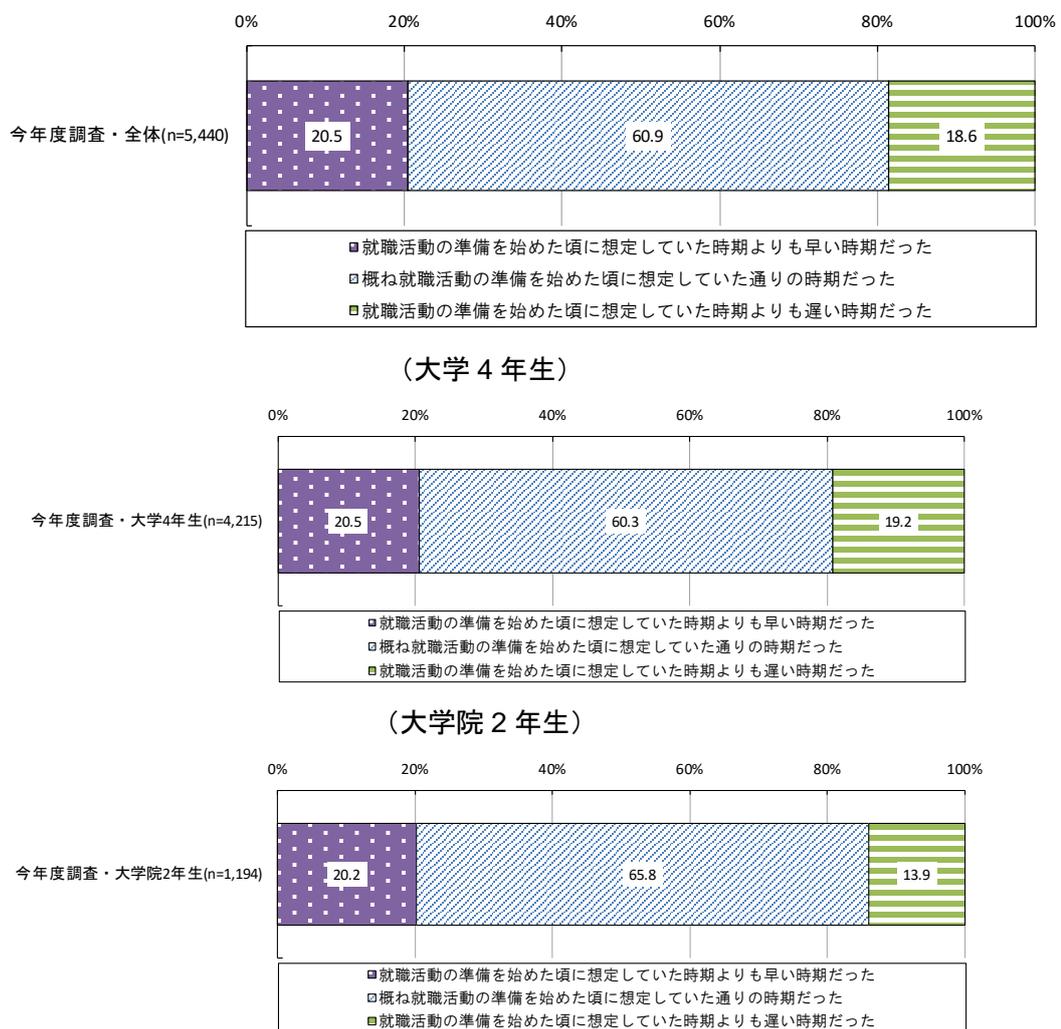
⁶⁵ 就職・採用活動時期に関し、昨年度と同様の時期に設定されたことについて、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」に、「どちらかといえばそう思わない」、または「そう思わない」と回答した者のみを集計対象とした。

③企業説明会やセミナー等への参加時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況

企業説明会やセミナー等への参加時期が就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期だったかについて、「概ね就職活動の準備を始めた頃に想定していた通りの時期だった」との回答が約 6 割となっている⁶⁶。なお、「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」との回答は約 2 割となっている。

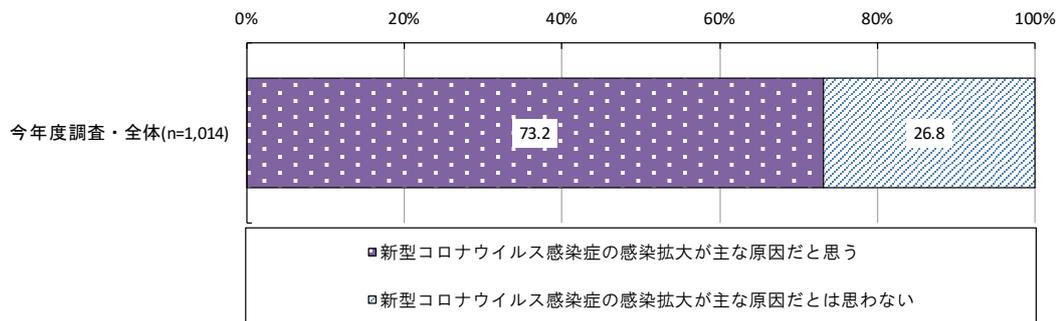
「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」と回答した者にその原因について尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」との回答が約 7 割となっている。

図表 3-10-3 企業説明会やセミナー等への参加時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況
(大学4年生・大学院2年生)

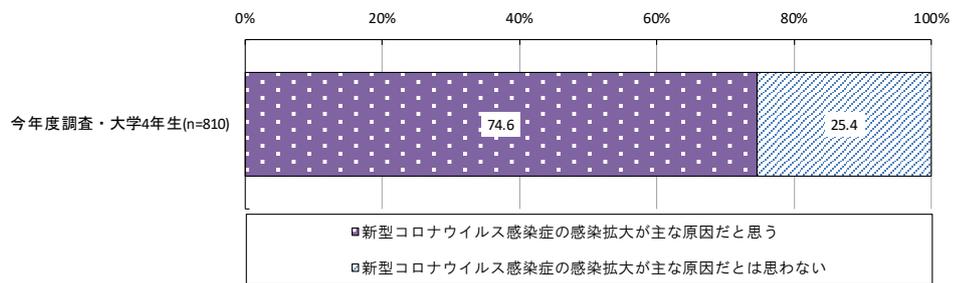


⁶⁶ 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

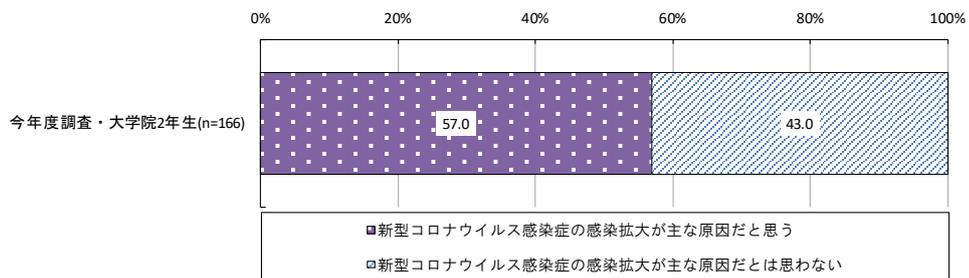
図表 3-10-4 企業説明会やセミナー等への参加が就職活動初期の想定より遅い時期であった原因
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

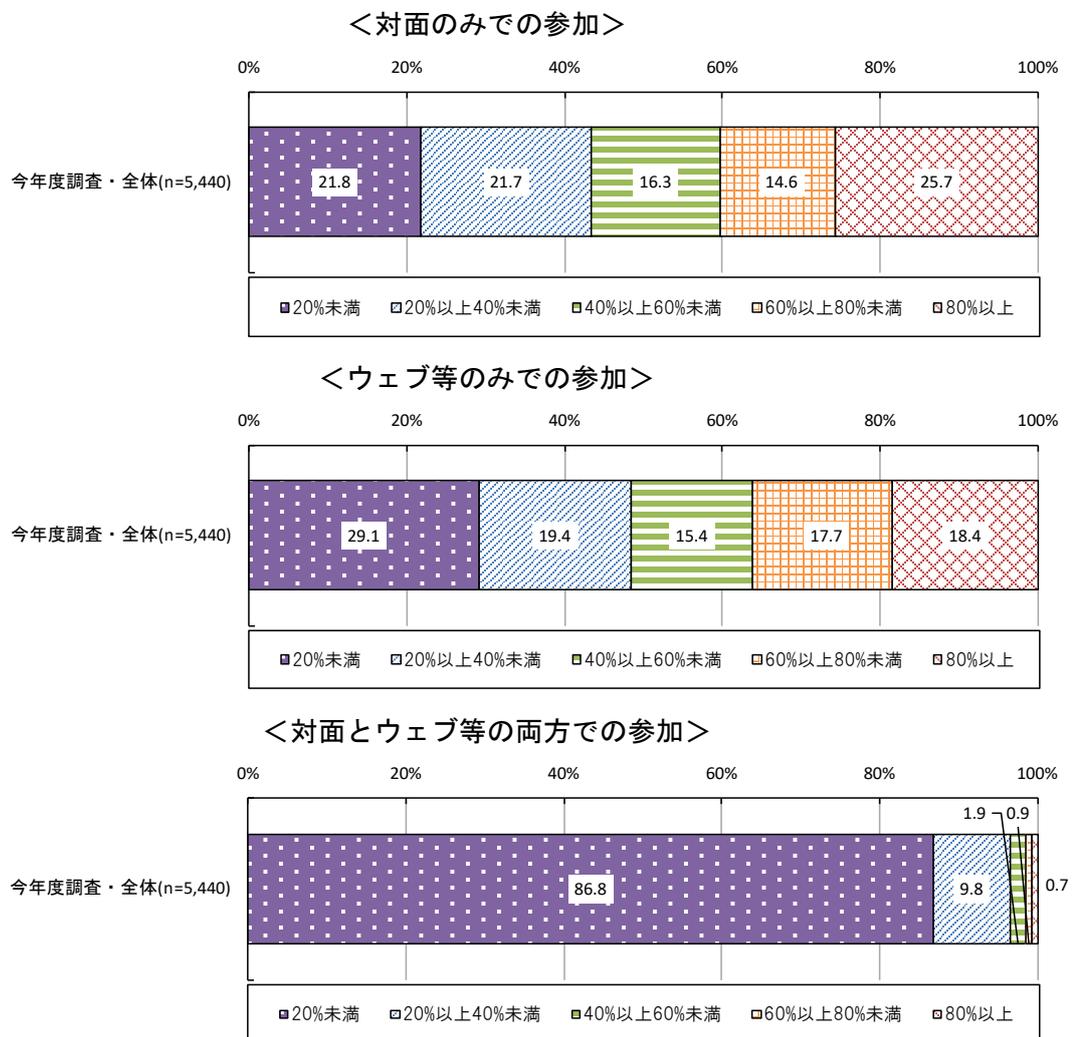


④企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

企業説明会やセミナー等に参加した企業数の合計に対して、「対面のみでの参加」「ウェブ等のみでの参加」「対面とウェブ等の両方での参加」であった企業数の割合を集計した。参加方法別に回答をみると、集計対象者の約3割が、参加した企業説明会やセミナー等のうち「対面のみでの参加」が「80%以上」となっていた。また、集計対象者の約3割が「ウェブ等のみでの参加」が「20%未満」であり、約9割が「対面とウェブ等の両方での参加」が「20%未満」であったと回答している⁶⁷。

また、企業説明会やセミナー等について参加した方法すべての企業数を累計⁶⁸し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの参加」が約5割と最も多く、次いで「対面のみでの実施」が多くなっている。

図表 3-10-5 企業説明会やセミナー等への参加方法の状況
(大学4年生・大学院2年生)

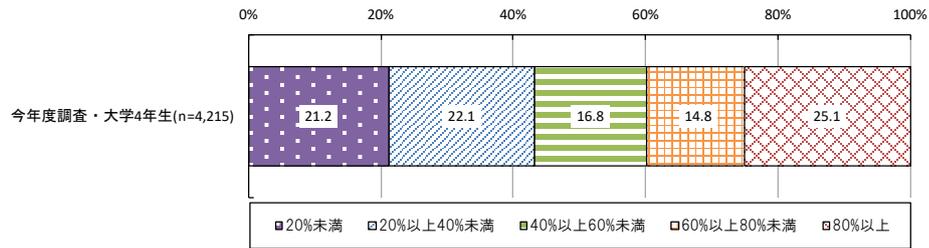


⁶⁷ 企業説明会やセミナー等について、「対面のみでの参加」「ウェブ等のみでの参加」「対面とウェブ等の両方での参加」であったと回答した企業数それぞれを、「参加した合計の企業数」で除した割合について集計している。

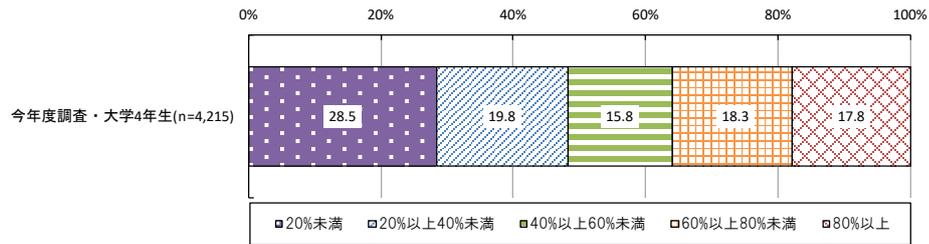
⁶⁸ 今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(大学4年生)

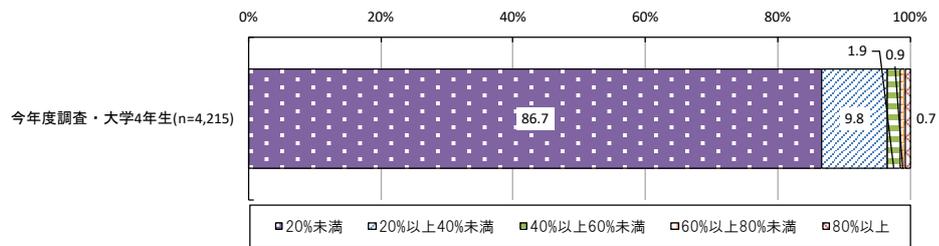
<対面のみでの参加>



<ウェブ等のみでの参加>

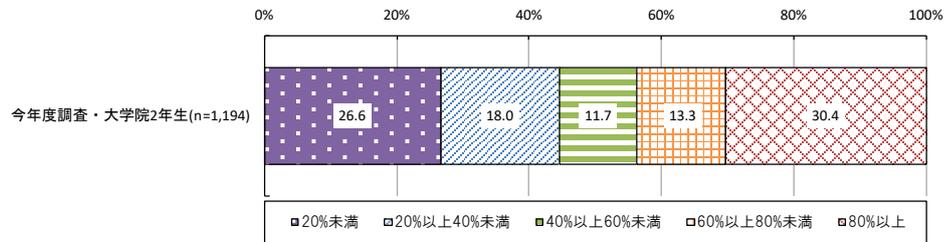


<対面とウェブ等の両方での参加>

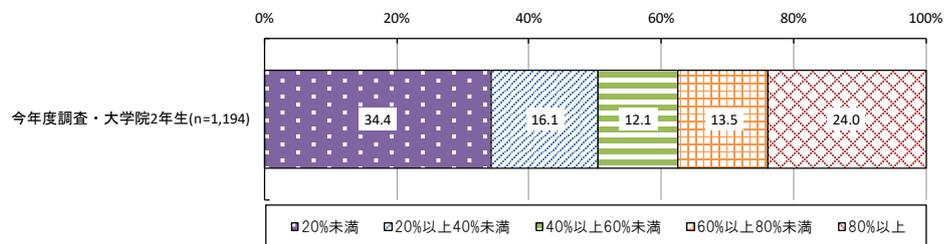


(大学院2年生)

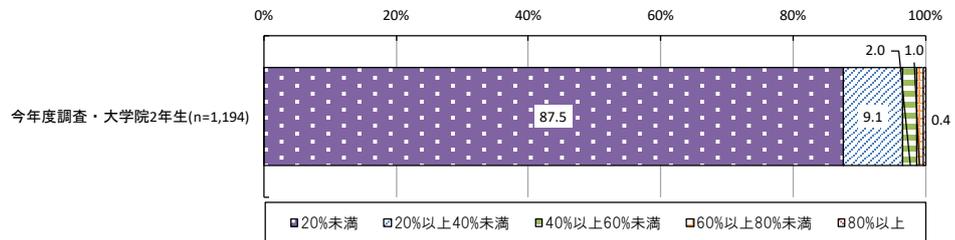
<対面のみでの参加>



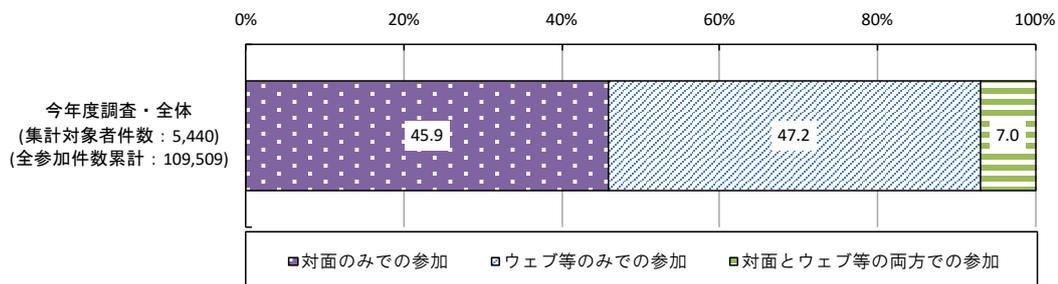
<ウェブ等のみでの参加>



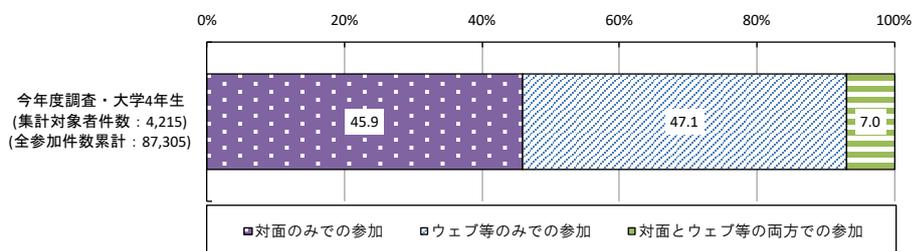
<対面とウェブ等の両方での参加>



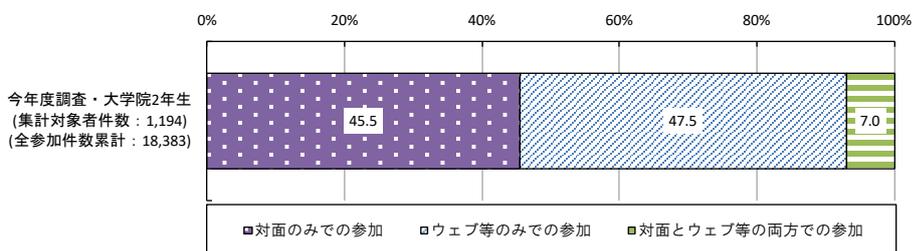
図表 3-10-6 参加した企業説明会やセミナー等の参加方法との関係
 (参加した企業説明会やセミナー等の企業数累計による集計)
 (大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

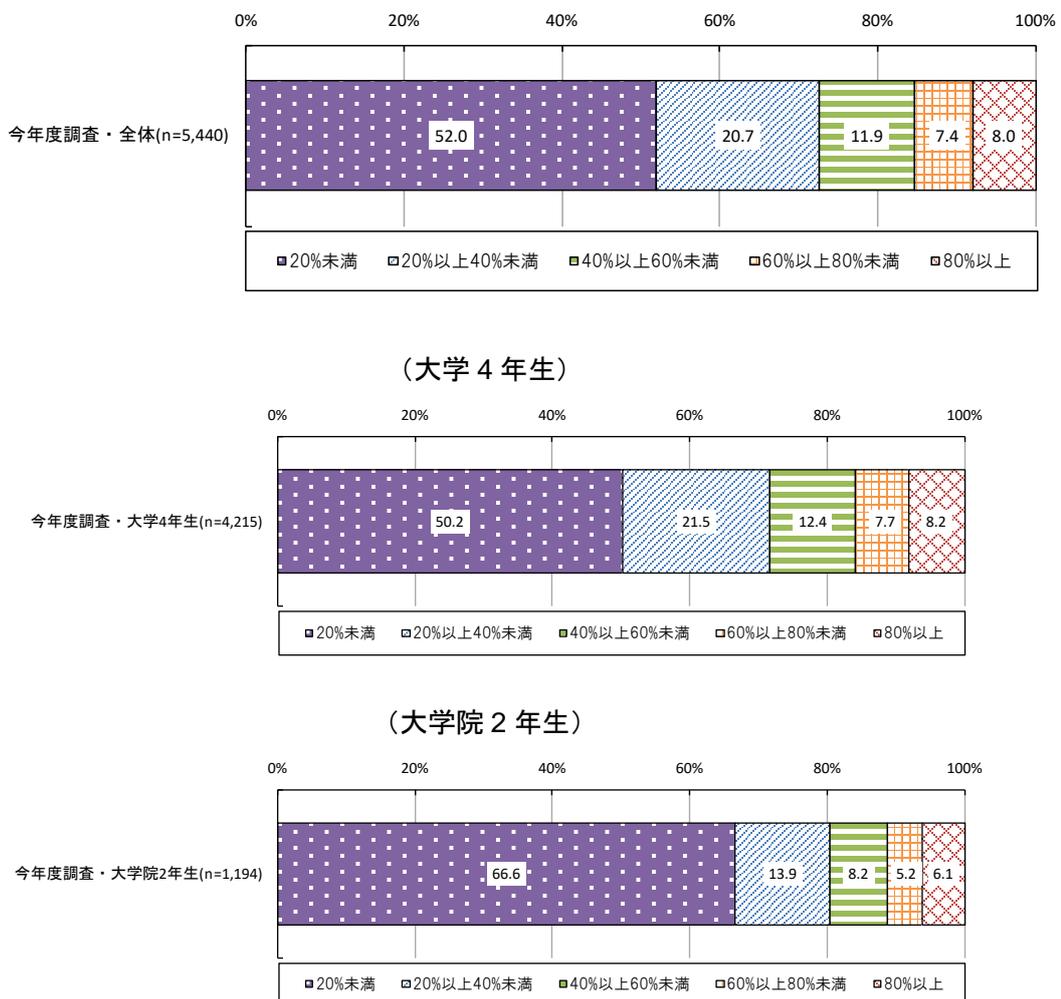


⑤新型コロナウイルス感染症による企業説明会やセミナー等の後ろ倒し・中止の状況

参加をした企業説明会やセミナー等に対する、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初の予定より開催時期が後ろ倒しに変更されたものの割合について集計したところ、集計対象の約2割が、企業説明会やセミナー等に参加した企業の60%以上が後ろ倒しに変更されたと回答している⁶⁹。

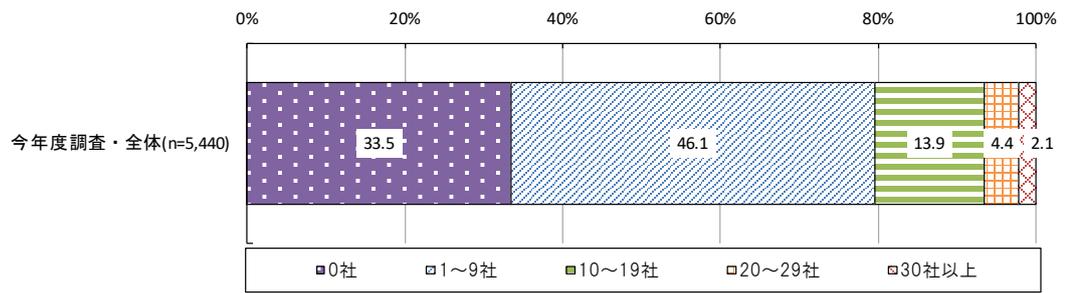
また参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、開催が中止になったものについて、「1~9社」であった者が約5割となっており、1社以上開催が中止になったと回答した者をみると約7割となっている。

図表 3-10-7 企業説明会やセミナー等の開催時期が後ろ倒しに変更された企業数の割合
(大学4年生・大学院2年生)

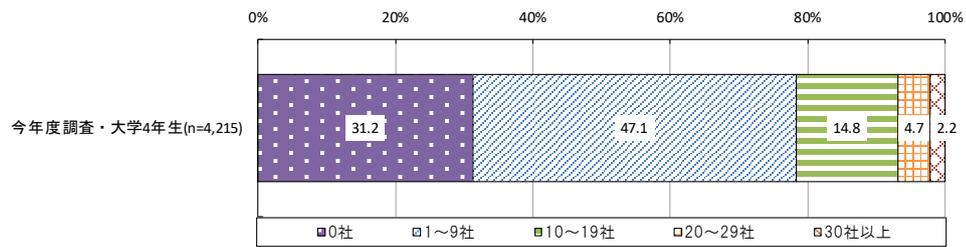


⁶⁹ 企業説明会やセミナー等について、「開催時期が後ろ倒しに変更された企業説明会やセミナー等」の企業数を、参加した企業数の合計で除した割合について集計している。

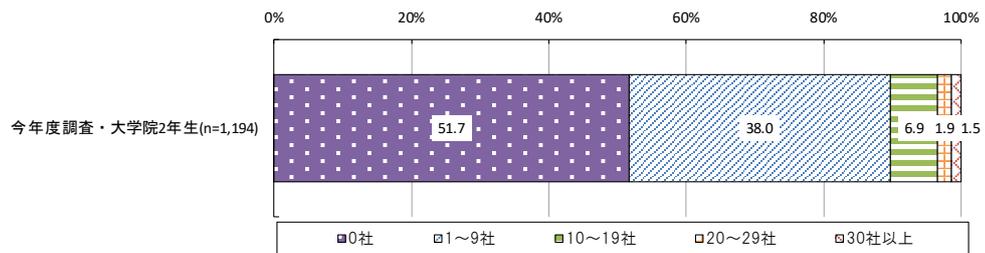
図表 3-10-8 参加を予定していたが開催が中止になった企業説明会やセミナー等の企業数
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⑥対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて、1社以上と回答した者が約3割となっている。

図表 3-10-9 対面で実施されることが理由で参加を取りやめた企業説明会やセミナー等の企業数
(大学4年生・大学院2年生)

